

(様式第9)

産医大収第81154号
平成20年10月6日

厚生労働大臣 殿

学校法人 産業医科大学
理事長 大石

産業医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

1. 高度の医療の提供の実績→別紙参照(様式第10)
2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績→別紙参照(様式第11)
3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数 177 人

4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法(平成20年10月1日現在)
→別紙参照(様式第12)
5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→別紙参照(様式第13)

7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	289人	1人	289.4人	看護業務補助	60人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7人	1人	7.4人	理学療法士	6人	臨床検査技師	43人
薬剤師	30人	0人	30.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1.0人	視能訓練士	3人	検査その他	0人
助産師	9人	0人	9.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	525人	9人	534.0人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	1人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	55人
管理栄養士	3人	0人	3.0人	診療放射線技師	27人	その他の職員	13人

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	552.1人	8.9人	561.0人
1日当たり平均外来患者数	1,440.9人	35.0人	1,475.9人
1日当たり平均調剤数		992.4 剤	

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
人口括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
成長障害のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
門脈圧亢進賞に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
鏡視下肩峰下控徐圧術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	6人
重粒子線治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
31鱗-磁気共鳴スペクトロスコピートケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	0人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	0人
泌尿生殖器腫瘍の構腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	0人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	0人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	0人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除術	有・無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	0人
膀胱水圧拡張術	有・無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジエネレーション法	有・無	0人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	0人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	0人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	0人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0人
腹腔鏡下子宫体がん根治手術	有・無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	(有)・無	9人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	(有)・無	0人
カフェイン併用化学療法	有・無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	(有)・無	1人
画像診断ナビゲーション手術	(有)・無	14人
眼底三次元画像解析	(有)・無	0人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェット病	69人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	19人
・多発性硬化症	33人	・ウェグナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	68人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	18人
・全身性エリテマトーデス	223人	・多系統萎縮症	18人
・スモン	6人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	36人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	45人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	18人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	140人	・重症急性胰炎	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	29人	・特発性大腿骨頭壊死症	25人
・結節性動脈周囲炎	22人	・混合性結合組織病	45人
・潰瘍性大腸炎	86人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	15人	・特発性間質性肺炎	11人
・ビュルガー病	4人	・網膜色素変性症	21人
・天疱瘡	9人	・プリオント病	1人
・脊髄小脳変性症	49人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	34人	・神経纖維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	31人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	130人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	5人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	33人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 30 例	剖検率 11.3 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

(平成19年度分)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に対する研究	田中 良哉	第1内科	11,000,000 円	補厚生労働科学研究費委
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	田中 良哉	第1内科	1,500,000 円	補厚生労働科学研究費委
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	田中 良哉	第1内科	800,000 円	補厚生労働科学研究費委
免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的新規治療法に関する研究	田中 良哉	第1内科	2,000,000 円	補厚生労働科学研究費委
自己免疫疾患に関する調査研究	田中 良哉	第1内科	1,800,000 円	補厚生労働科学研究費委
関節リウマチの寛解導入体系化に関する研究	田中 良哉	第1内科	2,000,000 円	補厚生労働科学研究費委
デンドライトを起点とするストレスに対するサーベイランスとシグナルネットワーク形成	田中 良哉	第1内科	12,090,000 円	補日本学術振興会科学研究費委
免疫疾患の既存治療法の評価とその合併症に関する研究	齋藤 和義	第1内科	1,200,000 円	補厚生労働科学研究費委
炎症性サイトカイン遺伝子の発現を抑制する新規転写抑制因子による炎症病態の治療戦略	齋藤 和義	第1内科	1,820,000 円	補日本学術振興会科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
関節リウマチに伴う骨関節破壊・骨粗鬆症治療戦略確立のための探索的研究	岡田 洋右	第1内科	1,430,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
単球系細胞におけるstat5の機能と自己免疫疾患制御の探索的研究	山岡 邦宏	第1内科	2,340,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
関節リウマチに伴う骨関節破壊・骨粗鬆症治療戦略確立のための探索的研究	岡田 洋右	第1内科	2,400,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究	尾辻 豊	第2内科	1,500,000 円	厚生労働科学研究費 委
虚血性僧帽弁逆流例における外科的弁輪形成術施行後の機能性僧帽弁狭窄	尾辻 豊	第2内科	3,640,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
芦屋町における児童生徒の保健管理に関する調査	尾辻 豊	第2内科	1,000,000 円	芦屋町 委
難治性脾疾患に関する調査研究	大槻 真	第3内科	28,000,000 円	厚生労働科学研究費 委
手技の効率化を目指した振動機能付内視鏡の開発	久米 恵一郎	第3内科	1,300,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
脾外分泌ペースメーカー機構の解明	山本 光勝	第3内科	1,000,000 円	文部科学科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
補足運動野連続磁気刺激による大脳基底核疾患治療の開発	辻 貞俊	神経内科	14,700,000 円	補厚生労働科学研究費委
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究	辻 貞俊	神経内科	800,000 円	補厚生労働省精神・神経疾患委託費委
てんかんに対する新たな治療法開設と標準化に関する研究	辻 貞俊	神経内科	700,000 円	補厚生労働省精神・神経疾患委託費委
神經細胞間電気的共役の神經疾患への関与: gap junction 機能の解明	辻 貞俊	神経内科	1,690,000 円	補日本学術振興会科学研究費委
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	中村 純	神経・精神科	2,800,000 円	補厚生労働科学研究費委
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	中村 純	神経・精神科	1,000,000 円	補厚生労働省精神・神経疾患委託費委
早期精神病の予防、早期治療および病態解明に関する臨床的研究	中村 純	神経・精神科	1,000,000 円	補厚生労働省精神・神経疾患委託費委
アルコール依存症の病態と治療法の開発に関する研究	中村 純	神経・精神科	700,000 円	補厚生労働省精神・神経疾患委託費委
統合失調症の病態、治療薬への反応性、および副作用出現に関する分子遺伝学的研究	新開 隆弘	神経・精神科	910,000 円	補日本学術振興会科学研究費委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
血管型一酸化窒素合成酵素遺伝子多型のうつ病の病態への影響	吉村 玲児	神経・精神科	1,430,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
特殊免疫グロブリンの国内製造に係 わる基礎整備に関する研究	白幡 聰	小児科	2,300,000 円	厚生労働科学研究費 委
胎児・新生児期での栄養代謝の変動 の脳内摂食調節機構発達及び生活 習慣病発症への影響	山本 幸代	小児科	1,430,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
ヒト大腸癌におけるイノシトール3リン 酸受容体発現の意義とその重要性	柴尾 和徳	第1外科	2,210,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
肺癌特異抗原を用いる特異的免疫 療法の確立	安元 公正	第2外科	1,700,000 円	文部科学科学研究費 委
新規抗原蛋白デリバーシステムによる 多価性癌ワクチンの多施設共同臨 床研究	安元 公正	第2外科	7,000,000 円	文部科学省 委
肺癌における遺伝子診断による分子 ステージングの確立と治療指針の開 発	杉尾 賢二	第2外科	3,380,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
肺癌における分子標的としての上皮 成長因子受容体遺伝子の薬剤感受 性と耐性機序の解明	杉尾 賢二	第2外科	1,200,000 円	文部科学科学研究費 委
胸膜中皮腫に対する新しい腫瘍抗 原の探索と診断及び治療への応用	花桐 武志	第2外科	1,820,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委

9件
36件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
肺癌の転移進展に伴う細胞性免疫および液性免疫応答の解析	竹之山 光広	第2外科	1,560,000 円	補日本学術振興会科学 研究費 委
肺癌の免疫逃避機構の解明：HLA発現異常の面から	市来 嘉伸	第2外科	1,430,000 円	補文部科学科学研究費 委
虚血性脳卒中患者における血管イベントの発症率に関する前向き観察研究	西澤 茂	脳神経外科	500,000 円	補サノフィ・アベン ティス(株) 委
高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変形、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明	中村 利孝	整形外科	15,200,000 円	補厚生労働科学研究費 委
骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築の研究	中村 利孝	整形外科	500,000 円	補厚生労働科学研究費 委
間欠的荷重負荷による骨の構造強化作用における低リポ蛋白受容体シグナルの役割解明	中村 利孝	整形外科	2,730,000 円	補日本学術振興会科学 研究費 委
骨中オステオカルシン等組織分析基礎研究	中村 利孝	整形外科	5,849,921 円	補エーザイ(株) 委
骨吸収抑制剤の皮質骨骨形態に対する作用	中村 利孝	整形外科	2,000,000 円	補小野薬品工業(株) 委
閉眼片脚起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片足起立15秒以下の群に対する閉眼片足起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究	酒井 昭典	整形外科	800,000 円	補厚生労働科学研究費 委

9件
45件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
骨・骨髄損傷後の修復過程における骨と血管のシグナルネットワークの解明	酒井 昭典	整形外科	1,690,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
高齢者の生活の質を低下させる筋骨格系退行変化の危険因子分析	成澤 研一郎	整形外科	650,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
関節炎発症における中枢・末梢応答の遺伝子改変動物を用いた可視的評価と病態解明	大西 英生	整形外科	2,990,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
エストロゲン欠乏マウスに対する高脂質食投与が骨代謝におよぼす影響を明らかにする	田中 伸哉	整形外科	2,470,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
時間特異的及び組織・細胞特異的ノックアウトマウスを用いた骨再生過程の解明	中村 英一郎	整形外科	1,500,000 円	文部科学科学研究費 委
好酸球性光線過敏型葉疹のマウスモデルの確立と免疫学的機構解明	戸倉 新樹	皮膚科	1,950,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
ケトプロフェンの光線過敏症メカニズム解明に関する研究	戸倉 新樹	皮膚科	1,000,000 円	久光製薬(株) 委
パリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究	桃島 健治	皮膚科	2,000,000 円	厚生労働科学研究費 委
金属アレルギーの克服へ向けた効果的診断・予防・治療法の開発研究	桃島 健治	皮膚科	1,800,000 円	厚生労働科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
抗体産生細胞ホーミング機序の解明と臨床応用への試み	梶島 健治	皮膚科	1,000,000 円	(補)文部科学科学研究費委
外的刺激に対する皮膚免疫応答機序の包括的解明	梶島 健治	皮膚科	14,170,000 円	(補)文部科学科学研究費委
なぜ白癬菌は表皮角層内に存在するだけで炎症を惹起するのか—自然免疫から探る—	小林 美和	皮膚科	2,200,000 円	(補)文部科学科学研究費委
NOおよびNOSの接触皮膚炎における生理的意義とその役割の解明	杉田 和成	皮膚科	600,000 円	(補)文部科学科学研究費委
成人T細胞性白血病リンパ腫患者におけるPD-1, PD-L1, 2発現の検討	島内 隆寿	皮膚科	2,300,000 円	(補)文部科学科学研究費委
植皮部における接触皮膚炎感作抑制メカニズムの解明	吉木 竜太郎	皮膚科	1,700,000 円	(補)文部科学科学研究費委
光老化による一酸化窒素合成酵素欠損時酸化ストレスマーカーの変動	織茂 弘志	皮膚科	1,100,000 円	(補)文部科学科学研究費委
性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究	松本 哲朗	泌尿器科	3,000,000 円	(補)厚生労働科学研究費委
病態に応じた慢性前立腺炎モデルの確立と新たな治療の開発	松本 哲朗	泌尿器科	2,210,000 円	(補)日本学術振興会科学 研究費 委 9件 63件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
塩酸バイコマイシン使用施設における病原性細菌の薬剤感受性の調査・解析	松本 哲朗	泌尿器科	2,000,000 円	補 ホスピーラ・ジャパン(株) 委
行動及び内分泌機能の性分化におけるエストロゲンレセプターの役割解明	野村 昌良	泌尿器科	1,700,000 円	補 文部科学科学研究費 委
間質性膀胱炎モデルにおけるよりよい水圧拡張術と新たな薬物治療の開発	寺戸 三千和	泌尿器科	1,700,000 円	補 文部科学科学研究費 委
緑内障の病因に関する細胞生物学的研究—ステロイド緑内障からのアプローチ—	久保田 敏昭	眼科	1,300,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
上皮細胞のタイト結合と細胞増殖因子からみた鼻茸形成のメカニズム	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科	1,170,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
睡眠呼吸障害患者における認知機能に関する研究	北村 拓朗	耳鼻咽喉科	2,700,000 円	補 文部科学科学研究費 委
インドメタシンによる鼻茸縮小機序の解明とラミニンの関与	宇高 穀	耳鼻咽喉科	1,000,000 円	補 文部科学科学研究費 委
選択的エストロゲン受容体調節薬の子宮内膜間質および平滑筋における造腫瘍能の解析	蜂須賀 徹	産婦人科	2,860,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
子宮内胎児発育遅延における胎盤アミノ酸輸送の研究	柴田 英治	産婦人科	1,240,000 円	補 文部科学科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
直接変換方式フラットパネル検出器を用いた血管造影の有用性と被曝低減に関する研究	掛田 伸吾	放射線科	1,200,000 円	文部科学科学研究費 委
侵害刺激に対するアセチルカルニチンの鎮痛効果について	田村 仁美	麻酔科	1,000,000 円	文部科学科学研究費 委
神経因性疼痛モデルにおけるグリシン及びGABAトランスポーター阻害薬の鎮痛効果	原 幸治	麻酔科	1,300,000 円	文部科学科学研究費 委
高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	6,800,000 円	厚生労働科学研究費 委
スモンに関する調査研究	蜂須賀 研二	リハビリテーション科	900,000 円	厚生労働科学研究費 委
廃用性筋萎縮モデルラットに対する抗酸化作用を持つ薬物投与の影響	松嶋 康之	リハビリテーション科	2,400,000 円	文部科学科学研究費 委
慢性腎疾患におけるインテグリンの病態生理学的役割の解明と制御による治療への応用	田村 雅仁	腎センター	1,950,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
悪性胸膜中皮腫における分子標的として腫瘍関連遺伝子の解析	浦本 秀隆	化学療法センター	1,950,000 円	日本学術振興会科学 研究費 委
成人T細胞白血病における遺伝子修復機構の回復による発症予防	森本 浩章	化学療法センター	1,700,000 円	文部科学科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
重炭酸含有チューリンガムによる胃食道逆流症の治療	芳川 一郎	内視鏡部	390,000 円	日本学術振興会科学研究費委
線維粘液性腫瘍の鑑別診断に関する検討	松山 篤二	内視鏡部	1,300,000 円	文部科学科学研究費委
致死性不整脈の発症に関わるイオンチャネルの内因性メカニズムの解明	長友 敏寿	臨床研修等指導教員	1,430,000 円	日本学術振興会科学研究費委
				3件 84件

2 論文発表等の実績（平成 19 年度実績）

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun 356 :279 ~ 285 (2007年4月)	Small GTPase Rho signaling is involved in beta1 integrin-mediated up-regulation of intercellular adhesion molecule 1 and receptor activator of nuclear factor kappaB ligand on osteoblasts and osteoclast maturation.	Okada, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
Ann Rheum Dis 66 :470 - 475 (2007年4月)	Efficacy of rituximab (anti-CD20) for refractory systemic lupus erythematosus involving the central nervous system.	Saito, K.	免疫・内分泌代謝 内科
Rheumatology 46 :597 - 603 (2007年4月)	Rheumatoid synovial endothelial cells produce macrophage colony-stimulating factor leading to osteoclastogenesis in rheumatoid arthritis.	Nakano, K.	免疫・内分泌代謝 内科
Mod Rheumatol 17 :144 - 147 (2007年4月)	A case of life-threatening refractory polychondritis successfully treated with combined intensive immunosuppressive therapy with methotrexate.	Yamaoka, K.	免疫・内分泌代謝 内科
糖尿病 50 :255 - 260 (2007年4月)	インスリン治療を要する著明な高血糖が腎孟癌摘出直後から食事療法のみにてコントロール可能となった2型糖尿病の1例	西田 啓子	免疫・内分泌代謝 内科
Arthritis Rheum 56 :1559 - 1568 (2007年5月)	Activation signal transduction by beta1 integrin in T cells from patients with systemic lupus erythematosus.	Saito, K.	免疫・内分泌代謝 内科
Mod Rheumatol 17 :191 - 197 (2007年6月)	A multicenter phase I/II trial of rituximab for refractory systemic lupus erythematosus.	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
日本内分泌学会雑誌 83 :255 - 257 (2007年7月)	反応性低血糖に空腹時低血糖を併発し診断・治療に苦慮した1例	山本 真喜子	免疫・内分泌代謝 内科
Arthritis Rheum 56 :2466 - 2466 (2008年8月)	Clinical images: Takayasu arteritis diagnosed by positron emission tomography.	Yamaoka, K.	免疫・内分泌代謝 内科
内科 100 :585 - 589 (2007年9月)	巣状糸球体硬化症との合併が疑われた Gitelman症候群の1例	岡田 洋右	免疫・内分泌代謝 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Internal Medicine 46 :1485 - 1486 (2007年10月)	Etidronate for the Treatment of Progressive Tumoral Calcinosis in Hemodialysis Patients.	Okada, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
Endocrine Journal 54 :685 - 693 (2007年11月)	Low Molecular Weight Hyaluronan Increases the Uptaking of Oxidized LDL into Monocytes.	Okada, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
結核 82 :759 - 763 (2007年11月)	健常授乳婦に生じた肺 Mycobacterium chelonae 感染症の1例	齋藤 和義	免疫・内分泌代謝 内科
Peptides 28 : 1596-1604 (2007年11月)	Downregulation of prolactin-releasing peptide gene expression in the hypothalamus and brainstem of diabetic rats.	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
The Journal of Immunology 179 :6479 - 6484 (2007年12月)	Leflunomide Inhibits PDK1/Akt Pathway and Induces Apoptosis of Human Mast Cells.	Sawamukai, N.	免疫・内分泌代謝 内科
Mod Rheumatol 17 :464 - 469 (2007年12月)	Efficacy and safety of mizoribine for the treatment of Sjögren's syndrome: a multicenter open-label clinical trial.	Saito, K.	免疫・内分泌代謝 内科
Mod Rheumatol 17 :481 - 485 (2007年12月)	Enhanced effect of high-dose leukocytapheresis using a large filter in rheumatoid arthritis.	Saito, K.	免疫・内分泌代謝 内科
Exp Hematology 35 :1812-1822 (2007年12月)	Constitutive association of MyD88 to IRAK in HTLV-1-transformed T cells.	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
糖尿病 51 :33 - 37 (2008年1月)	ミゾリビンにより急激な高血糖をきたした1例	岡田 洋右	免疫・内分泌代謝 内科
Eur J Haematol 80 :10-19 (2008年1月)	Intracellular HMGB1 transactivates the human IL-1B gene promoter through association with an Ets transcription factor PU.1	Mouri, F.	免疫・内分泌代謝 内科

10件

20件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Rheum Dis 67 :189 - 194 (2008年2月)	Postmarketing surveillance of the safety profile of infliximab in 5000 Japanese patients with rheumatoid arthritis.	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
Prog Med 28 :423 - 427 (2008年2月)	インスリン分泌促進薬投与中の2型糖尿病患者におけるピオグリタゾン追加投与の有用性に関する検討—インスリン分泌促進薬の減量効果—	岡田 洋右	免疫・内分泌代謝 内科
Endocrine J 55 :213 - 216 (2008年2月)	Induction of Hyperadiponectinemia Following Long-term Treatment of Patients with Rheumatoid Arthritis with Infliximab (IFX), an Anti-TNF-alpha Antibody.	Nishida, K.	免疫・内分泌代謝 内科
J Gastroenterol Hepatol 23 :303 - 309 (2008年2月)	Increased esophageal mucosal/submucosal blood flow in patients with gastroesophageal reflux disease: normalization by treatment with a proton pump inhibitor.	Okada, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
J Bone Miner Res 23 :278 - 286 (2008年2月)	Interaction of galectin-9 with lipid rafts induces osteoblast proliferation through the c-Src/ERK signaling pathway.	Tanikawa, T.	免疫・内分泌代謝 内科
Ann Rherm Dis 67 :380-388 (2008年3月)	Overcoming drug resistance induced by P-glycoprotein on lymphocytes in patients with refractory rheumatoid arthritis.	Tanaka, Y.	免疫・内分泌代謝 内科
放射線技術学会計測分科会誌 15(1):1 - 6 (2007年4月)	生体内植込みデバイス治療の進歩と臨床的課題	安部 治彦	循環器・腎臓内科
J Arrhythmia 23(1):21 - 24 (2007年4月)	Non-pharmacological management in neurocardiogenic syncope.	Abe, H.	循環器・腎臓内科
Hypertension Research 30(8):699 - 706 (2007年8月)	Angiotensin Receptor Blocker Improves Coronary Flow Velocity Reserve in Hypertensive Patients: Comparison with Calcium Channel Blocker.	Yamashita, K.	循環器・腎臓内科
Jpn J Med Ultrasonics 34(6):599 - 601 (2007年11月)	経胸壁および経食道心エコー法が有用であったペースメーカー植え込み術後早期のリード関連感染性心内膜炎	山下 和仁	循環器・腎臓内科

10件

30件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circulation Journal 71 :1049 - 1114 (2007年11月)	「失神の診断・治療ガイドライン」循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2005-2006年度合同研究班報告)	安部 治彦	循環器・腎臓内科
日本透析会雑誌 22(3):427 - 429 (2007年12月)	低血圧・ショックの簡単な心エコー診断	尾辻 豊	循環器・腎臓内科
American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine 177(2):219 - 222 (2008年1月)	Gene transfer of extracellular superoxide dismutase ameliorates pulmonary hypertension in rats.	Yamashita, K.	循環器・腎臓内科
Jpn J Med Ultrasonics 35(1):3 - 11 (2008年1月)	低血圧・ショックの簡単な心エコー診断	尾辻 豊	循環器・腎臓内科
British Journal of Pharmacology 153(3):439 - 447 (2008年2月)	Coexistence of hERG current block and disruption of protein trafficking in ketoconazole-induced long QT syndrome.	Nagatomo, T.	循環器・腎臓内科
Eur Heart J 29 :825 - 826 (2008年3月)	Reduced and delayed untwisting of the left ventricle in patients with hypertension and left ventricular hypertrophy: a study using two-dimensional speckle tracking imaging: Reply.	Takeuchi, M.	循環器・腎臓内科
Journal of Cardiovascular Ultrasound 16(1):1 - 8 (2008年3月)	Mechanism of Ischemic Mitral Regurgitation	Otsuji, Y.	循環器・腎臓内科
Pancreas 34(3):364 - 372 (2007年4月)	High glucose activates rat pancreatic stellate cells through protein kinase C and p38 mitogen-activated protein kinase pathway.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Internal Medicine 46 :373 - 375 (2007年4月)	Primary mesenteric liposarcoma successfully diagnosed by preoperative imaging studies.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Journal of Gastroenterology 42(4):291 - 297 (2007年4月)	Pancreatic diabetes in a follow-up survey of chronic pancreatitis in Japan.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Gastro-intest Liver Physiol 292(4):G964 - G974 (2007年4月)	Supramaximal CCK-58 does not induce pancreatitis in the rat:role of pancreatic water secretion.	Yamamoto, M.	消化器・代謝内科
Diabetes Research and Clinical Practice 78 :176 - 181 (2007年4月)	Carotid intima-media thickness in patients with liver cirrhosis associated with diabetes mellitus.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Journal of Gastroenterology 42(suppl8):50 - 58 (2007年5月)	Treatment for autoimmune pancreatitis: consensus on the treatment for patients with autoimmune pancreatitis in Japan.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Journal of Gastroenterology 42(suppl8):6 - 8 (2007年5月)	Prevalence of autoimmune pancreatitis in Japan from a nationwide survey in 2002.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Journal of Gastroenterology 42(suppl8):1 - 5 (2007年5月)	Autoimmune pancreatitis:a message from Japan.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Gastroenterological Endoscopy 49(5):1340 - 1340 (2007年5月)	Letter to the Editor.	久米 恵一郎	消化器・代謝内科
Endoscopy 39(6):566 - 569 (2007年6月)	Grasping-forces-assisted endoscopic submucosal dissection using a novel irrigation cap-knife for large superficial early gastric cancer.	Kume, K.	消化器・代謝内科
Internal Medicine 46 :975 - 977 (2007年7月)	Argon plasma coagulation therapy for a hemorrhagic radiation-induced gastritis in patient with pancreatic cancer.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Endoscopy 39(suppl1):E214-215 (2007年7月)	Endoscopic aspiration mucosectomy and closure assisted by outside CCD camera.	Kume, K.	消化器・代謝内科
Endoscopy 39(suppl1):E186-187 (2007年7月)	Multi-camera system of the endoscopy: endoscopic mucosal resection for large gastric lesion using a novel 1-channel camera-hood.	Kume, K.	消化器・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endoscopy 39(suppl1) :E144 (2007年7月)	Endoscopic submucosal dissection using a novel irrigation wiper-knife.	Kume, K.	消化器・代謝内科
Journal of the Pancreas 8(suppl4) :495 - 500 (2007年7月)	Action of antiproteases on fibrosis in experimental chronic pancreatitis.	Nagashio, Y.	消化器・代謝内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 293 :G972 - G978 (2007年8月)	Externally applied pressure activates pancreatic stellate cells through the generation of intracellular reactive oxygen species.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
Internal Medicine 46 :1323 - 1330 (2007年9月)	Activations of coagulation and fibrinolysis secondary to bowel inflammation in patients with ulcerative colitis.	Kume, K.	消化器・代謝内科
J Gastroen Hepatol 22 :1553 - 1553 (2007年9月)	Gastrointestinal: Tubular duplication of the descending colon.	Kume, K.	消化器・代謝内科
American Journal of Gastroenterology 102(10) :2173 - 2180 (2007年10月)	Impact of steatosis on insulin secretion in chronic hepatitis C patients.	Narita, R.	消化器・代謝内科
Diabetes Care 30(11) :2940 - 2944 (2007年11月)	Nonalcoholic fatty liver disease is a risk factor for type 2 diabetes in middle-aged Japanese men.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科
日本消化器病学会雑誌 104(11) :1632 - 1637 (2007年11月)	酢酸オクトレオチドにより脾炎が増悪した1例	大槻 真	消化器・代謝内科
日本消化器病学会雑誌 105(1) :86 - 92 (2008年1月)	超音波内視鏡下吸引細胞診(EUS-FNA)が有用であった脾悪性リンパ腫の1例	永塩 美邦	消化器・代謝内科
Digestive Endoscopy 20(1) :29 - 32 (2008年1月)	Transection of metal stents using argon plasma coagulation.	Otsuki, M.	消化器・代謝内科

10件

60件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
糖尿病 51(1):19 - 25 (2008年1月)	重症急性胰炎の発症により大量のインスリンを要した2型糖尿病の1例	大槻 真	消化器・代謝内科
膵臓 23(1):36 - 41 (2008年1月)	膵液分泌障害による新たな慢性胰炎モデルの開発	山本 光勝	消化器・代謝内科
Internal Med 47 :557 - 558 (2008年3月)	Pancreatico-gastric fistulas due to intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN).	Honda, K.	消化器・代謝内科
消心身医 14(1):41 - 45 (2007年5月)	神経性食欲不振症患者の訴える消化器症状に対するクエン酸モサブリドの治療効果の検討	米良 貴嗣	神経内科
BioPsychoSocial Med 1(11):1 - 5 (2007年6月)	Age and gender differences of psychogenic fever: a review of the Japanese literature.	Oka, T.	神経内科
BioPsychoSocial Medicine 1(16):1 - 5 (2007年9月)	Clinidipine lowered psychological stress-induced increase in blood pressure in a hypertensive man:a case report.	Hayashida, S.	神経内科
Intern Med 46(1):1671 - 1672 (2007年10月)	Intermittent Intravenous Immunoglobulin Successfully Prevents Relapses of Neuromyelitis Optica.	Okada, K.	神経内科
Peptides 28 :1596 - 1604 (2007年11月)	Downregulation of prolactin-releasing peptide gene expression in the hypothalamus and brainstem of diabetic rats.	Mera, T.	神経内科
J Neurol 254 :1390 - 1394 (2007年12月)	An adult form of Alexander disease: a novel mutation in glial fibrillary acidic protein.	Ohnari, K.	神経内科
臨神経 47 :441 - 443 (2007年12月)	頸部血管超音波がもやもや病の診断に有用であった1例	安田 千春	神経内科

10件

70件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuropathology 28:309 - 316 (2007年12月)	Forme fruste or incipient form of widespread-type amyotrophic lateral sclerosis, or motor neuron disease with pallido-nigro-luysian atrophy?	Hashimoto, T.	神経内科
臨神経 48(1):48 - 51 (2008年2月)	Longitudinally extensive spinal cord lesionを呈した神經ベーチェット病の1例	武智 詩子	神経内科
Brain Res 1197 :143 - 151 (2008年3月)	Magnesium exerts both preventive and ameliorating effects in an <i>in vitro</i> rat Parkinson disease model involving 1-methyl-4-phenylpyridinium (MPP(+)) toxicity in dopaminergic neurons.	Hashimoto, T.	神経内科
Brain Med 20(1):10 (2008年3月)	特集・治療の最前線(8)：てんかん特集にあたって	辻 貞俊	神経内科
臨神生 35(6):546 - 551 (2008年3月)	意識障害	赤松 直樹	神経内科
内科総合誌臨時増刊号 24 :315 - 320 (2007年4月)	うつ病	中村 純	神経・精神科
精神科臨床サービス 7(2):188 - 191 (2007年4月)	Fluvoxamine から paroxetine への切り替え中に有害事象が出現したうつ病の1例	堀 輝	神経・精神科
九州神経精神医学 53(1):70 - 71 (2007年4月)	B7. 学校での暴力をきっかけに不登校になった女児との音楽療法を通した関わり	下村 泰斗	神経・精神科
九州神経精神医学 53(1):71 (2007年4月)	B9. 統合失調症での一酸化炭素(NO)動態	吉村 玲兒	神経・精神科
九州神経精神医学 53(1):73 (2007年4月)	B13. 修正型電気痙攣療法(m-ECT)が著効した精神病性うつ病の1例 脳由来神経栄養因子(BDNF)とカテコールアミン代謝産物の動態からの検討	岡本 龍也	神経・精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
九州神経精神医学 53(1):73 (2007年4月)	B17. fluvoxamine から paroxetine への変更中に血中 fluvoxamine 濃度の上昇に伴い副作用が出現した1例	堀 輝	神経・精神科
九州神経精神医学 53(1):77 (2007年4月)	B30. 職場のメンタルヘルスの現状 ～精神科医へのアンケート調査	中野 英樹	神経・精神科
九州神経精神医学 53(1):80 (2007年4月)	B39. CNS Lupus の精神症状とカテコールアミン代謝産物およびBDNFとの関連	吉村 玲児	神経・精神科
精神経誌 109(4):373 - 378 (2007年5月)	治療抵抗性うつ病に対する高頻度磁気刺激の治療効果－血中カテコラミン及びBDNFの観点から－	吉村 玲児	神経・精神科
臨床精神薬理 10(6):1045 - 1061 (2007年6月)	塩酸パロキセチン水和物の有効性・安全性の総括 -市販後調査より-	中村 純	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 31(5):1034 - 1037 (2007年6月)	Effects of paroxetine or milnacipran on serum brain-derived neurotrophic factor in depressed patients.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 31(5):1072 - 1077 (2007年6月)	Treatment with risperidone for 4 weeks increased plasma 3-methoxy-4-hydroxypheophylglycol (MHPG) levels, but did not alter plasma brain-derived neurotrophic factor (BDNF) levels in schizophrenic patients.	Yoshimura, R.	神経・精神科
日アルコール精医誌 14(1):63 - 65 (2007年7月)	職場復帰した女性アルコール依存症の1例	梅根 和歌子	神経・精神科
NeuroMolecular Medicine 9(2):169 - 178 (2007年7月)	Association Analyses of the DAOA/G30 and D-Amino-Acid Oxidase Genes in Schizophrenia Further Evidence for a Role in Schizophrenia.	Hori, H.	神経・精神科
臨床精神薬理 10(8):1423 - 1431 (2007年7月)	抗精神病薬による水中毒をどう予測するか	中村 純	神経・精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨精薬理 10(8):1518 - 1522 (2007年8月)	社会復帰を目指した抗うつ薬による治療	中村 純	神経・精神科
精神医学 49(8):805 - 810 (2007年8月)	修正型電気けいれん療法(mECT)が一過性に奏効した遅発緊張病の1例	吉村 玲児	神経・精神科
Psychiatry Clin Neurosci 61(4):452 (2007年8月)	Therapeutic drug monitoring of plasma fluvoxamine levels for treating bulimia nervosa.	Yoshimura, R.	神経・精神科
こころを支える 2(3):18 - 20 (2007年8月)	抗てんかん薬がてんかん以外の疾患に使われている理由	中村 純	神経・精神科
日臨 65(9):1633 - 1637 (2007年8月)	抗うつ薬の薬理作用と副作用	杉田 篤子	神経・精神科
Human Psychopharmacology 22:483 - 490 (2007年8月)	Effects of acute paroxetine treatment on the consumption of cigarette smoking and caffeine in depressed patients.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A3 (2007年9月)	Gene variants of dopamine receptors as predictors of response to risperidone treatment in first-episode schizophrenia patients.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A3 - A4 (2007年9月)	MDR1 genetic polymorphism and tardive dyskinesia.	Hori, H.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A12 - A13 (2007年9月)	Effects of SSRI or SNRI on serum brain-derived neurotrophic factor levels in depressed patients.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A15 (2007年9月)	BDNF and catecholamine metabolites levels in psychotic depression recovered by the modified ECT: a case report.	Yoshimura, R.	神経・精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A22 (2007年9月)	Effects of nicotine and caffeine on response to risperidone treatment in schizophrenia.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A22 - A23 (2007年9月)	Plasma NOx levels in schizophrenic patients:preliminary study.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A23 (2007年9月)	Serum brain-derived neurotrophic factor levels are increased in psychotic depressed patients responding to lithium addition to paroxetine treatment.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A23 - A24 (2007年9月)	Therapeutic drug monitoring of plasma fluvoxamine level is useful in the treatment of bulimia nervosa.	Sugita, A.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A25 (2007年9月)	Effects of nicotine and caffeine on response to paroxetine treatment in depressed patients.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A25 - A26 (2007年9月)	The influence of SSRI and SNRI on blood nitric oxide concentration.	Sugita, A.	神経・精神科
Int Clin Psychopharmacol 22(5):A26 (2007年9月)	Plasma valproic acid levels in acute manic phase and the following maintenance phase in bipolar patients.	Hori, H.	神経・精神科
最新精神医 12(5):417 - 419 (2007年9月)	序論	中村 純	神経・精神科
産業ストレス研 14(3):123 - 127 (2007年9月)	うつ病と適応障害の薬物療法	中村 純	神経・精神科
産業精保健 15(3):156 - 164 (2007年9月)	職場のメンタルヘルスの現状－産業医および精神科医へのアンケート調査から－	中野 英樹	神経・精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Progress in Medicine 27(9):2069 - 2074 (2007年9月)	精神障害からの理解 IX-1 気分障害	中村 純	神経・精神科
J Psychopharmacol 21(7):718 - 727 (2007年9月)	Association study of four dopamine D1 receptor gene polymorphisms and clozapine treatment response.	Shinkai, T.	神経・精神科
最新精神医 12(5):449 - 453 (2007年9月)	産業医が知っておくべきうつ病の知識： 薬物療法を中心に	吉村 玲児	神経・精神科
Stress and Health 23 :323 - 329 (2007年9月)	Type A behaviour pattern is associated with cynicism and low self-acceptance in medical students.	Nakamura, J.	神経・精神科
精神医 49(10):1013 - 1018 (2007年10月)	統合失調症の徘徊行動に olanzapine と paroxetine の併用が著効した1例	福中 優子	神経・精神科
老年精医誌 (増刊号-II) 18 :61 (2007年10月)	Late-onset catatonia responding to treatment with aripiprazole.	Yoshimura, R.	神経・精神科
Schizophrenia Front 8(3):34 - 41 (2007年10月)	G72 と D-アミノ酸酸化酵素 (DAAO)	新開 隆弘	神経・精神科
臨精医 36(10):1271 - 1277 (2007年10月)	アルコールとうつ状態： 心理的ならびに生物学的観点からの検討	吉村 玲児	神経・精神科
World J Biol Psychiatry 26 :1 - 4 (2007年10月)	Blood levels of catecholamine metabolites and brain-derived neurotrophic factor in a case of Sydenham's chorea.	Umene, W.	神経・精神科
International Psychogeriatrics 19 :203 (2007年10月)	Late - onset catatonia responding to treatment with aripiprazole.	Yoshimura, R.	神経・精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神誌 109(10):901 (2007年10月)	巻頭言 精神科医と産業医との連携	中村 純	神経・精神科
Depression Frontier 5(2):87 - 90 (2007年10月)	うつ病と脳由来神経栄養因子(BDNF)	上田 展久	神経・精神科
日医師会誌 136(8):1550 (2007年11月)	せん妄への対応	中村 純	神経・精神科
Neuropsychiatric Disease Treatment 3(5):683 - 686 (2007年11月)	Increase of plasma brain-derived neurotrophic factor levels in two psychotic depressed patients responding to lithium addition to paroxetine treatment.	Yoshimura, R.	神経・精神科
臨精薬理 10(12):2189 - 2193 (2007年11月)	双極性うつ病に対する薬物療法	吉村 玲児	神経・精神科
精神誌 109(9):822 - 833 (2007年11月)	自殺予防の観点から見たうつ病の治療	吉村 玲児	神経・精神科
Neuromolecular Med 9(4):292 - 297 (2007年12月)	The Orexin 1 Receptor (HCRT1) Gene as a Susceptibility Gene Contributing to Polydipsia - Hyponatremia in Schizophrenia.	Fukunaka, Y.	神経・精神科
臨精医 36(増刊号):142 - 147 (2007年12月)	QTc 延長症候群ほかの不整脈	坂田 深一	神経・精神科
精神 11(6):484 - 488 (2007年12月)	遅発緊張病に aripiprazole が有効であ った 1 症例	坂田 深一	神経・精神科
薬局 59(1):17 - 20 (2008年1月)	「睡眠障害」のさまざまな病態を知る	中村 純	神経・精神科

10件

130件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床精神薬理 11(2):273 - 279 (2008年1月)	うつ病患者の社会適応能力に対する milnacipranの効果	上田 展久	神経・精神科
臨床と研究 85(1):110 - 115 (2008年1月)	月経前の気分障害	井上 賀晶	神経・精神科
International Joural of Psychiatry in Clinical Practice 12(1):11 - 18 (2008年1月)	Revised psychopharmacological algorithms for the treatment of mood disorders in Japan.	Nakamura, J.	神経・精神科
Psychogeriatrics 8 :38 - 41 (2008年1月)	A case of vascular depression Associated with musical Hallucinations successfully treated with paroxetine and a low dose of risperidone.	Umene, W.	神経・精神科
臨精薬理 11(3):405 - 411 (2008年2月)	寛解、回復を目指したうつ病の治療 —うつ病の寛解、回復の概念、定義—	中村 純	神経・精神科
Hum Psychopharmacol 23 :327 - 332 (2008年2月)	Acute risperidone treatment did not in- crease daily cigarette consumption or plasma levels of cotinine and caffeine : a pilot study.	Yoshimura, R.	神経・精神科
精神経誌 110(3):197 - 202 (2008年2月)	産業保健に対する精神科医の役割	中村 純	神経・精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 32 :679 - 685 (2008年3月)	Stress at work alters serum brain derived ne- urotrophic factor (BDNF) levels and plasma 3- methoxy-4-droxyphenylglycol (MHPG) levels in healthy volunteers: BDNF and MHPG as possible biological markers of mental stress?	Mitoma, M.	神経・精神科
肥満研 13(1):29 - 33 (2007年4月)	肥満小児における1日歩数と代謝異常と の関連性	荒木 俊介	小児科
Pediatr Transplant 11(2):180 - 186 (2007年5月)	Bone marrow transplantation in children with severe aplastic anemia using a con- ditioning regimen containing 3 Gy of to- tal body irradiation, cyclophosphamide with or without antithymocyte globulin.	Takahashi, D.	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日血栓止血会誌 18(3):255 - 264 (2007年6月)	海外における遺伝子組換え活性型凝固第VII因子製剤（注射用ノボセブン）の高用量単回投与に関する臨床研究	白幡 聰	小児科
脳と発達 39(4):285 - 288 (2007年7月)	早期新生児期から多方向性眼振、ジストニー、無呼吸発作を頻発した小児交代性片麻痺の1例	塩田 直樹	小児科
Free Radic Res 41(9):1028 - 1034 (2007年9月)	Simvastatin enhances induction of inducible nitric oxide synthase in 3T3-L1 adipocytes.	Araki, S.	小児科
日小児会誌 111(9):1050 - 1054 (2007年9月)	肥満小児における分子量アディポネクチン分画の変動と合併症との関連性	荒木 俊介	小児科
Jpn J Clin Oncol 37(11): 874 - 877 (2007年11月)	Primary Ewing's sarcoma family tumors of the lung a case-report and review of the literature.	Takahashi, D.	小児科
ホルモンと臨 55(12):1167 - 1170 (2007年12月)	分子量別アディポネクチン分画の変動と小児メタボリックシンдроームとの関連性	荒木 俊介	小児科
Brain Dev 30:370-373 (2007年12月)	Infantile neuronal ceroid lipofusciosis: The first reported case in Japan diagnosed by palmitoyl-protein thioesterase enzyme activity deficiency.	Takano, K.	小児科
脳と発達 40:42-46 (2007年12月)	抗グルタミン酸受容体(Glu R)抗体が陽性であった髄膜脳炎の16歳男児例	富岡 志保	小児科
Pediatr Diabetes 8 :48 - 54 2007年12月	Review Article: Metabolic syndrome in youths.	Dobashi, K.	小児科
肥満研 13(3):309-310 (2007年12月)	肥満小児における酸化ストレス：血中8-epi-prostaglandinF2 α レベルの変動	土橋 一重	小児科

10件

150件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日血栓止血会誌 18(6):614 - 618 (2007年12月)	国内における遺伝子組換え活性型凝固第VII因子製剤（注射用ノボセブン）の高用量単回投与に関する臨床研究 第I相試験結果—安全性についての報告	白幡 聰	小児科
日血栓止血会誌 18(6):627 - 639 (2007年12月)	わが国におけるインヒビター保有先天性血友病患者に対するバイパス止血療法の現状	白幡 聰	小児科
Regul Pept 145:133-140 (2008年1月)	Postnatal development of galanin-like peptide mRNA expression in rat hypothalamus.	Kawagoe, R.	小児科
Life Sci 82:85-90 (2008年1月)	Hydroxymethylglutaryl-CoA reductase inhibitor inhibits induction of nitric oxide synthase in 3T3-L1 preadipocytes.	Dobashi, K.	小児科
Obesity 16:384-388 (2008年2月)	Plasma visfatin concentration as a surrogate marker for visceral fat accumulation in obese children.	Araki, S.	小児科
Gastroenterology 133(1):256 - 267 (2007年7月)	Lipid rafts establish calcium waves in hepatocytes.	Nagata, N.	消化器・内分泌外科
日外感染症会誌 32(4):605 - 610 (2007年8月)	外科領域感染症に対する注射用ニューキノロン系薬メシリ酸パズフロキサン(PZFX)の有用性に関する検討	柴尾 和徳	消化器・内分泌外科
日外感染症会誌 32(5):814 - 819 (2007年10月)	胆囊ドレナージ後、準緊急的に腹腔鏡下胆囊摘出術を施行した気腫性胆囊炎の1例	柴尾 和徳	消化器・内分泌外科
Shock 28(4):411 - 417 (2007年10月)	SIRS-associated coagulopathy and organ dysfunction in critically ill patients with thrombocytopenia.	Okamoto, K.	消化器・内分泌外科
Gastroenterology 133(5):1592 - 1602 (2007年11月)	Cyclic AMP regulates bicarbonate secretion in cholangiocytes through release of ATP into bile.	Shibao, K.	消化器・内分泌外科

10件

160件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Gastroenterol Hepatol 6(1):95 - 101 (2008年1月)	Multiphoton imaging can be used for microscopic examination of intact human gastrointestinal mucosa ex vivo.	Nagata, J.	消化器・内分泌外科
Crit Care Med 36(1):145-150 (2008年1月)	The natural history of disseminated intravascular coagulation diagnosed based on the newly established diagnostic criteria for critically ill patients:Results of a multicenter, prospective survey.	Okamoto, K.	消化器・内分泌外科
Gan To Kagaku Ryoho 34(4):538 - 543 (2007年4月)	Prediction of effectiveness of EGFR tyrosine kinase inhibitors for the patients with by EGFR mutations.	Uramoto, H.	呼吸器・胸部外科
Surg Today 37(7):546 - 551 (2007年6月)	Gender difference as a prognostic factor in patients undergoing resection of non-small cell lung cancer.	Hanagiri, T.	呼吸器・胸部外科
肺癌 47(3):239 - 244 (2007年6月)	異時性肺癌に対する外科的治療成績	小野 嘉司	呼吸器・胸部外科
Cancer Sci 98(7):1048 - 1054 (2007年7月)	Cytokine production of lung cancer cell lines: Correlation between their production and the inflammatory/immunological responses both in vivo and in vitro.	Fukuyama, T.	呼吸器・胸部外科
Clin Cancer Res 13(14):4046 - 4050 (2007年7月)	Significance of Immunohistochemical Expression of Estrogen Receptors {alpha} and {beta} in Squamous Cell Carcinoma of the Esophagus.	Nozoe, T.	呼吸器・胸部外科
Anticancer Res 27(4B):2297 - 2304 (2007年7月)	A new mechanism for primary resistance to gefitinib in lung adenocarcinoma: the role of a novel G796A mutation in exon 20 of EGFR.	Uramoto, H.	呼吸器・胸部外科
Breast Cancer 14(3):277 - 280 (2007年7月)	Clinicopathologic Significance of an Immunohistochemical Expression of p27 in Scirrhous Carcinoma of the Breast.	Nozoe, T.	呼吸器・胸部外科
Cancer Res 67(17):8351 - 8357 (2007年9月)	Antitumor Effect of Antibody against a SEREX-Defined Antigen (UOEH-LC-1) on Lung Cancer Xenotransplanted into Severe Combined Immunodeficiency Mice.	Mizukami, M.	呼吸器・胸部外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology 71(5-6):402 - 410 (2007年10月)	Significance of immunohistochemical expression of p27 and involucrin as the marker of cellular differentiation of squamous cell carcinoma of the esophagus.	Nozoe, T.	呼吸器・胸部外科
J Thorac Oncol 2(10):907 - 911 (2007年10月)	Postoperative prognosis in patients with non-small cell lung cancer according to the method of initial detection.	Hanagiri, T.	呼吸器・胸部外科
Cancer Sci 98(11):1795 - 1802 (2007年11月)	Lack and restoration of sensitivity of lung cancer cells to cellular attack with special reference to expression of human leukocyte antigen class I and/or major histocompatibility complex class I chain related molecules A/B.	Baba, T.	呼吸器・胸部外科
Esophagus 4 :181 - 183 (2007年12月)	Pancreatic endocrine carcinoma presenting with gastric varices derived by left-sided portal hypertension: a case report.	Nozoe, T.	呼吸器・胸部外科
Cancer Sci 98(12):2009 - 2018 (2007年12月)	Inflammatory stimuli from macrophages and cancer cells synergistically promote tumor growth and angiogenesis.	Kimura, N.	呼吸器・胸部外科
胸部外科 61(1):37 - 42 (2008年1月)	肺癌における分子標的治療成績と個別化治療への展開	杉尾 賢二	呼吸器・胸部外科
Dis Esophagus 21(1):30 - 36 (2008年1月)	Acute lung injury following an esophagectomy for esophageal cancer, with special reference to the clinical factors and cytokine levels of peripheral blood and pleural drainage fluid.	Morita, M.	呼吸器・胸部外科
日本胸部臨床 67(2):99 - 109 (2008年2月)	肋骨骨折合併鈍的胸部外傷の診断と治療	能勢 直弘	呼吸器・胸部外科
日本レーザー医学雑誌 28(2):136 - 143 (2007年4月)	悪性脳腫瘍に対する Photodynamic therapy と Photodynamic diagnosis 一重項酸素のモニタリング	山本 淳考	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 83 :94 - 96 (2007年6月)	Intrasellar cavernoma の一例	宗前 匠	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本内分泌学会雑誌 83 :72 - 75 (2007年6月)	大きな頭蓋咽頭腫術後長期治療成績の分析	西澤 茂	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 83 :147 - 149 (2007年6月)	低コルチゾール血症を伴った下垂体機能低下症における早朝唾液中コルチゾール値測定の有用性	余語 宏介	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 83 :64 - 66 (2007年6月)	現在における Cushing 病の病態・診断・治療	沖 隆	脳神経外科
Neurologica Medico-Chirurgica 47 :140 - 144 (2007年11月)	Brainstem Epidermoid Cyst in a Child -Case Report-	Takahashi, M.	脳神経外科
Cancer Letters 251 :220 - 227 (2007年11月)	Genetically engineered neural stem cells migrate and suppress glioma cell growth at distant intracranial sites.	Li Shaoyi	脳神経外科
Acta Neurochirurgica 104 :suppl:59 - 63 (2008年2月)	The Roles of cross-talk mechanisms in the signal transduction systems in the pathophysiology of the cerebral vasospasm after subarachnoid haemorrhage—what we know and what we do not know .	Nishizawa, S.	脳神経外科
Acta Neurochirurgica 104 :suppl:55 - 58 (2008年2月)	Vasospasm biochemistry	Nishizawa, S.	脳神経外科
Journal of Neurosurgery 108 : 311 - 319 (2008年2月)	Induction of prostaglandin E2 synthesis and microsomal prostaglandin E synthase - 1 expression in murine microglia by glioma-derived soluble factors.	Nakano, Y.	脳神経外科
Neurological Surgery 36(2) :121 - 133 (2008年2月)	くも膜下出血後の脳血管攣縮 —基礎研究と治療における現在と将来の展望	西澤 茂	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル 17(2) : 114 - 121 (2008年2月)	特集脳神経機能温存海面静脈洞腫瘍の摘出と脳神経温存	西澤 茂	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Orthopaedic Research 25(4):480 - 487 (2007年4月)	Local Application of Recombinant Human Fibroblast Growth Factor-2 on Bone Repair : A Dose-Escalation Prospective Trial on Patients with Osteotomy.	Nakamura, T.	整形外科
Proceeding of the National Academy of Science of the United States of America 104(15):6382 - 6387 (2007年4月)	Indian, Hedgehog Produced by Postnatal Chondrocytes is Essential for Maintaining a Growth Plate and Trabecular Bone.	Nakamura, E.	整形外科
Osteoporosis International 18 :1493 - 1499 (2007年6月)	Historical height loss, vertebral deformity, and health-related quality of life in Hiroshima cohort study.	Nakamura, T.	整形外科
Journal of Bone and Mineral Research 22(7):1020 - 1030 (2007年7月)	ApoE Gene Deficiency Enhances the Reduction of Bone Formation Induced by a High Fat Diet Through the Stimulation of p53-Mediated Apoptosis in Osteoblastic Cell.	Tanaka, S.	整形外科
整形外科と災害外科 56(3):503 - 507 (2007年9月)	上腕骨近位端4part脱臼骨折に対してワイヤー締結とKirschner鋼線を用いて観血的整復固定術を施行した1例	酒井 昭典	整形外科
整形外科と災害外科 56(4):570 - 573 (2007年9月)	約20年の間に両側大腿骨転子部骨折と同側の骨幹部骨折を繰り返した1例	酒井 昭典	整形外科
整形外科と災害外科 56(4):680 - 681 (2007年9月)	膝関節複合靭帯損傷に対して治療を行った1例	内田 宗志	整形外科
骨折 29(3):576 - 581 (2007年9月)	大腿骨転子部骨折の新規分類と整復法の検討	鈴木 聖裕	整形外科
Osteoporosis International 19 :21 - 28 (2007年10月)	Association between height loss and bone loss, cumulative incidence of vertebral fractures and future quality of life : the Miyama study.	Nakamura, T.	整形外科
THE JOURNAL OF HAND SURGERY 32A(9):1385 - 1392 (2007年11月)	A Comparative Study of Clinical and Radiological Outcomes of Dorsally Angulated, Unstable Distal Radius Fractures in Elderly Patients : Intrafocal Pinning Versus Vola Locking Plating	Ohshige, T.	整形外科

10件

200件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JBMM 26 : 93 - 100 (2008年1月)	Nonenzymatic collagen cross-links induced by glycoxidation(pentosidine) predicts vertebral fractures.	Tanaka, S.	整形外科
JBMM 26(2) : 143 - 151 (2008年2月)	Selective cyclooxygenase-2 inhibitor prevents reduction of trabecular bone mass in collagen-induced arthritic mice in association with suppression of RANKL/OPG ratio and IL-6 mRNA expression in synovial tissues but not in bone marrow cells.	Sakai, A.	整形外科
Osteoporosis International 19 : 429 - 435 (2008年2月)	Development and application of a Japanese model of the WHO fracture risk assessment tool (FRAX™)	Nakamura, T.	整形外科
Am J Transplant 7 : 485 (2007年5月)	Influence of the Th1/Th2 paradigm for the regulatory function of the natural killer T(NKT) cells in cyclophosphamide(CP)-induced.	Kajiwara, T.	心臓血管外科
福岡医学雑誌 別刷 98(8) : 329 - 331 (2007年8月)	体外循環下感染ペースメーカリード摘出術を施行した3治験例	西村 陽介	心臓血管外科
胸部外科 別刷 60(11) : 1027 - 1030 (2007年10月)	術前脳灌流障害を伴った急性A型大動脈解離の外科治療	西村 陽介	心臓血管外科
Transplantation 84:1686 - 1695 (2007年12月)	The immunoregulatory roles of NKT cells in cyclophosphamide-induced tolerance.	Kajiwara, T.	心臓血管外科
西日本皮膚科 69 : 172 - 176 (2007年4月)	難治性乾癬に対するシクロスボリン・リセット療法の試み	戸倉 新樹	皮膚科
皮膚の科学 6 : 45 - 48 (2007年4月)	トリル酸スプラタストが著効した成人型アトピー性皮膚炎：トリル酸スプラタストの有効性と他のアレルギー薬との補完性	桟島 健治	皮膚科
Br J Dermatol 156 : 830 - 837 (2007年5月)	Inhibition of T helper 2 chemokine production by narrowband ultraviolet B in cultured keratinocytes.	Hino, R.	皮膚科

10件

210件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Contact Dermatitis 56:369-370 (2007年6月)	Oral allergy syndrome caused by raw fish in a Japanese sushi bar worker.	Sugita, K.	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 117 : 1155 - 1160 (2007年6月)	Chronic expanding hematoma の2例	吉木 竜太郎	皮膚科
Progress in Medicine 27 :1665 - 1669 (2007年7月)	口腔内・爪扁平苔癬および再発性アフタ性 口内炎に対するマレイン酸イルソグラジン の治療効果	戸倉 新樹	皮膚科
J Dermatol Sci 47 :151 - 159 (2007年8月)	Stimulation of langerhans cells with ketoprofen plus UVA in murine photocontact dermatitis to ketoprofen.	Kabashima, K.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol 21 : 569 - 570 (2007年8月)	Th2 cell fluctuation in association with reciprocal occurrence of bullous pemphigoid and psoriasis vulgaris.	Sugita, K.	皮膚科
J Am Acad Dermatol 57(2 Suppl):S22-25 (2007年8月)	Alopecia universalis associated with impaired with impaired interleukin-4 prodection and low serum IgE level.	Tokura, Y.	皮膚科
皮膚病診療 29 : 955 - 958 (2007年8月)	円形脱毛症患者にみられた出産および流産 後の全頭脱毛への悪化	小林 美和	皮膚科
皮膚病診療 29 : 1149 - 1152 (2007年10月)	Adult T cell leukemia —リウマチ様関節症状を伴った症例	樋島 健治	皮膚科
Acta Derm Venereol 87 :80 - 81 (2007年10月)	Quadruple Extramammary Paget's disease.	Abe, S.	皮膚科
Am J Pathol 171 : 1249 - 1257 (2007年10月)	CXCL12-CXCR4 Engagement Is Required for Migration of Cutaneous Dendritic Cells.	Kabashima, K.	皮膚科

10件

220件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun 361:1012 - 1016 (2007年10月)	CXCR4 engagement promotes dendritic cell survival and maturation.	Kabashima, K.	皮膚科
J Dermatol Sci 48 : 25 - 33 (2007年10月)	T cell populations propagationg in the peripheral blood of patients with drug eruptions.	Kabashima, K.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol 21 : 1288 - 1289 (2007年10月)	Pemphigus vegetans associated with gastric cancer.	Koga, C.	皮膚科
J Exp Med 204 : 2865 - 2874 (2007年11月)	Facilitation of Th1-mediated immune response by prostaglandin E receptor EP1.	Kabashima, K.	皮膚科
J Am Acad Dermatol 57(5 Suppl) :S92-96 (2007年11月)	Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma with fatal leukemic outcome in association with CLA and CCR4-negative conversion.	Tokura, Y.	皮膚科
Visual Dermatology 6 : 1178 - 1179 (2007年11月)	皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫	戸倉 新樹	皮膚科
Int J Cancer 121 : 2585 - 2590 (2007年12月)	Augmented expression of programmed death -1 in both neoplastic and non-neoplastic CD4+T cells in adult T-cell leukemia/lymphoma.	Kabashima, K.	皮膚科
Cancer Sci 99 : 98 - 106 (2008年1月)	Adult T-cell leukemia/lymphoma cells from blood and skin tumors express cytotoxic T lymphocyte-associated antigen-4 and Foxp3 but lack suppressor activity toward autologous CD8+T cells.	Kabashima, K.	皮膚科
J Dermatol Sci 49 : 88 - 91 (2008年1月)	Fexofenadine downmodulates antigen-presenting ability of murine epidermal Langerhans cells.	Sugita, K.	皮膚科
Exp Dermatol 17 : 81 - 90 (2008年2月)	Epidermal chemokines and modulation by antihistamines, antibiotics and anti-fungals.	Tokura, Y	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Contact Dermatitis 58 : 76 - 79 (2008年2月)	Percutaneous penetration via hand eczema is the major accelerating factor for systemic absorption of toluene and xylene during car spray painting.	Hino, R.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol 22 : 239 - 241 (2008年2月)	Increment of circulating plasmacytoid dendritic cells in a patient with Kapo-si's varicelliform eruption.	Kabashima, K.	皮膚科
Dermatol 144 : 375 - 379 (2008年3月)	Nagashima type' keratosis palmoplantaris as a novel entity in this keratosis category.	Kabashima, K.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol 22 : 403 - 404 (2008年3月)	Segmental lentiginosis and café au lait spots within naevoid hypopigmentation.	Kabashima, K.	皮膚科
第22回角化症研究会記録集 82 - 85 (2008年3月)	長島型掌蹠角化症の一例	柾島 健治	皮膚科
西日本泌尿器科 69(4):230 - 236 (2007年4月)	間質性膀胱炎をとりまく現況	野村 昌良	泌尿器科
西日本泌尿器科 69(5):306 - 310 (2007年5月)	高度の膀胱癌に対する4-corner bladder and urethral suspension (Raz法)による治療：20症例の経験から	野村 昌良	泌尿器科
Regulatory Peptides 141(1-3):105 - 112 (2007年6月)	Up-regulation of galanin and corticotrophin-releasing hormone mRNAs in the key hypothalamic and amygdaloid nuclei in a mouse model of visceral pain	Nishii, H.	泌尿器科
Physiology & behavior 91(2-3):223 - 228 (2007年6月)	An angiotensin II receptor blocker increases sexual behavior in type 2 diabetic mice.	Nomura, M.	泌尿器科
日本性感染症学会雑誌 18(1):121 - 128 (2007年6月)	Chlamydia trachomatis を混合感染した淋菌性尿道炎の治療成績	松本 哲朗	泌尿器科

10件

240件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本化学会誌 55(5):374 - 377 (2007年9月)	北部九州・山口地区における oxacillin 低感受性および感受性 staphylococcus aureus の meca 遺伝子の保有状況	松本 哲朗	泌尿器科
西日本泌尿器科 69(10):592 - 596 (2007年10月)	限局性前立腺癌に対するネオアジュバントホルモン療法併用根治的放射線療法の成績	藤本 直浩	泌尿器科
Neuroscience Research 60 :219 - 227 (2008年2月)	Thalamic neural activation in the cyclophosphamide-induced visceral pain model in mice.	Nishii, H.	泌尿器科
西日本泌尿器科 69 (4): 190 - 196 (2007年4月)	TNF α 長期刺激により前立腺癌細胞はアンドロゲン高感受性になり得る	藤本 直浩	泌尿器科
西日本泌尿器科 69 (12): 678 - 684 (2007年12月)	サイクロフォスファシド誘発膀胱炎モデルマウスにおける排尿記録と活動量の測定の有用性	西井 久枝	泌尿器科
眼科 49(4):391 - 398 (2007年4月)	【落屑症候群】 落屑症候群の病態	田原 昭彦	眼科
臨床眼科 61(4):537 - 540 (2007年4月)	ガチフロキサシンとモキシフロキサシンの抗菌力	山下 美恵	眼科
あたらしい眼科 24(5):673 - 676 (2007年5月)	急性原発閉塞隅角症の眼圧コントロールに対する超音波水晶体乳化吸引、眼内レンズ挿入術の成績	山下 美恵	眼科
あたらしい眼科 24(7):947 - 951 (2007年7月)	産業医科大学における血管新生縁内障の治療成績	森田 啓文	眼科
臨床眼科 61(7):1237 - 1240 (2007年7月)	紙カルテ版クリニカルパスから電子カルテ版クリニカルパスへの移行が眼科医療経済に及ぼす影響	久保田 敏昭	眼科

10件

250件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床眼科 61(8):1461 - 1463 (2007年8月)	鈍的外傷により虹彩支持型有水晶体眼内レンズの偏位を生じた1例	山下 美恵	眼科
眼臨医報 101(9):902 - 904 (2007年9月)	網膜色素線条症に合併したポリープ状脈絡膜血管症に光線力学療法を行った1例	青木 瑠美	眼科
臨床眼科 61(9):1689 - 1693 (2007年9月)	産業医科大学病院における最近10年間の未熟児網膜症の検討	森田 啓文	眼科
臨床眼科 61(12):2065 - 2069 (2007年11月)	動力草刈り機作業中にフェイスシールドを装着していたにもかかわらず穿孔性眼外傷をきたした2例	相馬 利香	眼科
臨床眼科 61(13):2127 - 2130 (2007年12月)	裂孔原性網膜剥離手術後に後極部に多発性の孤立性網膜斑状病変を生じた1例	岡田 浩美	眼科
Journal of Pharmacological Sciences 106 :423 - 434 (2008年1月)	Direct Inhibition of N-Methyl-D-Aspartate(NMDA)-Receptor Function by Antiglaucomatous β -Antagonists.	Morita, H.	眼科
臨床眼科 62(3):393 - 398 (2008年3月)	抗癌剤TS-1内服による角膜障害の1例	久保田 敏昭	眼科
Journal of Infection 54(4):343 - 348 (2007年4月)	Eikenella corrodens in head and neck infections.	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
J Neuroendocrinol 19(4):285 - 292 (2007年4月)	Physiological Studies of Stress Responses in the Hypothalamus of Vasopressin-Enhanced Green Fluorescent Protein Transgenic Rat.	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
Audiol Jpn 50(2):150 - 156 (2007年4月)	内耳性聴覚障害に対するステロイド効果発現部位の検討	森 貴稔	耳鼻咽喉科

10件

260件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
耳喉頭頸 79(6):419 - 421 (2007年5月)	喉頭粘液腫の1例	上田 成久	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 100(5):385 - 389 (2007年5月)	FDG-PET により原発巣が判明した原発不明癌例	上田 成久	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 34(2):281 - 285 (2007年6月)	Association of verrucous carcinoma and inverted papilloma in the sinonasal tract.	Nagatani, G.	耳鼻咽喉科
日耳鼻会報 110(6):447 - 452 (2007年6月)	早期喉頭癌に対する臨床的検討	永谷 群司	耳鼻咽喉科
J Neuroendocrinol 19 :432 - 438 (2007年6月)	Evidence that down regulation of hypothalamic Kiss-1 expression is involved in the negative feedback action of testosterone to regulate luteinising hormone secretion in the adult male rhesus monkey (<i>Macaca mulatta</i>).	Shibata, M.	耳鼻咽喉科
Eur Arch Otorhinolaryngol 264(8):861 - 866 (2007年8月)	Hyperbaric oxygen and steroid therapy for idiopathic sudden sensorineural hearing loss.	Fujimura, T.	耳鼻咽喉科
Eur Arch Otorhinolaryngol 264 : 861-866 (2007年8月)	Hyperbaric oxygen and steroid therapy for idiopathic sudden sensorineural hearing loss.	Fujimura, T.	耳鼻咽喉科
Oncogene 26 :5194 - 5203 (2007年8月)	ZNF143 interacts with p73 and is involved in cisplatin resistance through the transcriptional regulation of DNA repair genes.	Wakasugi, T.	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 100(8):663 - 668 (2007年8月)	上顎洞血瘤腫の検討	鈴木 秀明	耳鼻咽喉科
Am J Rhinol 21(5):564 - 569 (2007年9月)	Chronic nasal obstruction causes daytime sleepiness and decreased quality of life even in the absence of snoring.	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
otolaryngol Head Neck Surg. 137(4):669 - 673 (2007年10月)	Relationships between nasal obstruction, observed apnea, and daytime sleepiness.	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
耳鼻・頭頸外科 79(12):935 - 938 (2007年11月)	喉頭気管分離術を行った誤嚥性肺炎11症例の検討	大淵 豊明	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 100(11):905 - 908 (2007年11月)	外転神経麻痺を呈した急性蝶形骨洞炎例	上田 成久	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol 128(1):61 - 65 (2008年1月)	Prostaglandin E1 in combination with hyperbaric oxygen therapy for idiopathic sudden sensorineural hearing loss.	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
日気食会報 59(1):12 - 18 (2008年1月)	急性喉頭蓋炎の臨床的検討	寶地 信介	耳鼻咽喉科
J.Clin. Microbiol. 46(3):876 - 881 (2008年3月)	Nasopharyngeal Haemophilus influenzae Carriage in Japanese Children Attending Day-Care Centers.	Mori, T.	耳鼻咽喉科
産科と婦人科 74(5):535 - 539 (2007年5月)	細菌性腔症と乳酸菌腔錠	吉村 和晃	産婦人科
産科と婦人科 74(6):658 - 662 (2007年6月)	低悪性度子宮内膜間質肉腫 (ESS low-grade) —子宮筋腫、高悪性度肉腫との鑑別	土岐 尚之	産婦人科
日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 38 :59 - 62 (2007年7月)	IUD タッチスメアで確定診断し得た骨盤放線菌症の1例	北島 光泰	産婦人科
Hum Reprod 22(7):1801-1809 (2007年7月)	Induction of prostaglandin E2 production by leukemia inhibitory factor promotes migration of first trimester extravillous trophoblast cell line, HTR-8/SV neo.	Hachisuga, T.	産婦人科

10件

280件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Ultrasound Med 26(7):941-946 (2007年7月)	The sonohysterographic difference in submucosal uterine fibroids and endometrial polyps treated by hysteroscopic surgery.	Hachisuga, T.	産婦人科
産婦人科の実際 56(10):1553 - 1556 (2007年10月)	性器脱に対する手術法の検討	北野 玲	産婦人科
Am J Neuroradiol 28(4):645 - 650 (2007年4月)	Reduction of radiation dose for cerebral angiography using flat panel detector of direct conversion type: a vascular phantom study.	Kakeda, S.	放射線科
Am J Neuroradiol 28(5):839 - 843 (2007年5月)	3D digital subtraction angiography of intracranial aneurysms: comparison of flat panel detector with conventional image intensifier TV system using a vascular phantom.	Kakeda, S.	放射線科
Eur Radiol 17(9):2345 - 2351 (2007年9月)	Detection of brain metastasis at 3T: comparison among SE, IR-FSE and 3D-GRE sequences.	Kakeda, S.	放射線科
Eur Radiol 17(9):2345 - 2351 (2007年9月)	Detection of brain metastasis at 3T: comparison among SE, IR-FSE and 3D-GRE sequences.	Kakeda, S.	放射線科
生体医工学 44(3):435 - 444 (2007年9月)	胸部単純X線写真における他人による類似差分画像のための類似画像検索システムの開発	青木 隆敏	放射線科
Am J Neuroradiol 28(9):1783 - 1788 (2007年10月)	A cone-beam volume CT using a 3D angiography system with a flat panel detector of direct conversion type: usefulness for superselective intra-arterial chemotherapy for head and neck tumors.	Kakeda, S.	放射線科
J Vasc Interv Radiol 18(12):1508 - 1516 (2007年12月)	Usefulness of Cone-Beam Volume CT with Flat Panel Detectors in Conjunction with Catheter Angiography for Transcatheter Arterial Embolization.	Kakeda, S.	放射線科
Journal of Cellular Physiology 211(2) :364-370 (2007年5月)	Downregulation of TLR4-dependent ATP production is critical for estrogen-mediated immunoprotection in kupffer cells following trauma-hemorrhage.	Kawasaki, T.	麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anesthesia & Analgesia 104(6):1434 - 1439 (2007年6月)	The effects of the local anesthetics lidocaine and procaine on glycine and gamma-aminobutyric acid receptors expressed in Xenopus oocytes.	Hara, K.	麻酔科
British Journal of Anaesthesia 98(6):848 (2007年6月)	Epidural anaesthesia and stress-induced immunosuppression.	Ogata, M.	麻酔科
Molecular Immunology 44(13):3317 - 3323 (2007年7月)	17 Beta-estradiol normalizes Toll receptor 4, mitogen activated protein kinases and inflammatory response in epidermal keratinocytes following trauma-hemo rhage.	Kawasaki, T.	麻酔科
麻酔 56(10):1168 - 1173 (2007年10月)	ProSealTM/LMAによる気道確保困難の発生頻度と対処法の検討	佐多 竹良	麻酔科
The Journal of trauma 63(4):770 - 774 (2007年10月)	The effects of ethanol on β 2-integrin and L-selectin on the surface of leukocytes in human whole blood.	Ogata, M.	麻酔科
Journal of Anesthesia 21(4):490 - 492 (2007年11月)	Considerations for general anesthesia combined with epidural anesthesia in a patient with stiff-person syndrome.	Hara, K.	麻酔科
American Journal of Physiology 294(3):c754-c764 (2008年3月)	Trauma-hemorrhage inhibits splenic dendritic cell proinflammatory cytokine production via a mitogen-activated protein kinase process.	Kawasaki, T.	麻酔科
Prosthetics and Orthotics International 31(2):133 - 137 (2007年6月)	Carbon fibre reinforced plastic knee-ankle-foot orthosis with a partially flexible thigh cuff: A modification for comfort while sitting on a toilet seat.	Hachisuka, K.	リハビリテーション科
J Rehabil Med 39(8):646 - 650 (2007年10月)	Oxygen consumption, oxygen cost and physiological cost index in polio survivors: a comparison of walking without orthosis, with an ordinary or a carbon-fibre reinforced plastic knee-ankle-foot orthosis.	Hachisuka, K.	リハビリテーション科
呼吸 26(9):862 - 863 (2007年9月)	禁煙後2ヶ月で囊胞性変化が改善した肺好酸球性肉芽腫症の1例	山崎 啓	呼吸器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
呼吸 26(10):950 - 951 (2007年10月)	多発性肺囊胞を伴った強皮骨膜症の1例	山崎 啓	呼吸器内科
Tuberc Respir Dis 62(5) : 365 - 373 (2007年11月)	Evaluation of Social Nicotine Dependence Using the Kano Test for Social Nicotine Dependence (KTSND-K) Questionnaire in Korea.	Yoshii, C.	呼吸器内科
呼吸 26(11):1035 - 1038 (2007年11月)	Swyer-james 症候群について	中村 武博	呼吸器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 294(2) :H944 - 953 (2007年12月)	Perticulate matter air pollution exposure promotes recruitment of monocytes into atherosclerotic plaques.	Yatera, K.	呼吸器内科
Inhalation Toxicology 20 :339 - 347 (2008年2月)	Chrysotile Asbestos Causes AEC Apoptosis via the Caspase Activation In Vitro and In Vivo.	矢寺 和博	呼吸器内科
禁煙会誌 3(1) :4 - 6 (2008年2月)	禁煙保険治療終了時の治療効果と今後の課 題	吉井 千春	呼吸器内科
禁煙会誌 3(1) :7 - 10 (2008年2月)	高校生の喫煙に対する認識と禁煙教育の効 果	吉井 千春	呼吸器内科
日本口腔腫瘍学会誌 19(2):25 - 36 (2007年6月)	口腔癌に対する超選択的動注療法	大矢 亮一	歯科口腔外科
皮膚臨床 49(10) : 1195 -1200 (2007年10月)	抗皮膚潰瘍薬	安田 浩	形成外科
医療薬学 34(1):59 - 63 (2008年1月)	フルオロキノロン系抗菌剤に対する耐性乳 酸菌および酪酸菌製剤の感受性について	高橋 浩二郎	薬剤部

10件

310件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本病院薬剤師会雑誌 44(2):261 - 264 (2008年2月)	抗がん剤調製支援システムの構築	篠原 義剛	薬剤部
産業医学プラザ 13 :61 - 64 (2007年4月)	潜水作業はクモ膜下出血の発生因子となるか?	合志 清隆	高気圧治療部
日集中医誌 14 :137 - 138 (2007年4月)	高気圧酸素は細菌感染症に効果的に作用する	合志 清隆	高気圧治療部
J Neurooncol 82(3):297 - 303 (2007年5月)	Fractionated stereotactic radiotherapy using gamma unit after hyperbaric oxygenation on recurrent high-grade gliomas.	Kohshi, K.	高気圧治療部
Undersea Hyperb Med 34(3):143 - 144 (2007年5月)	Reply from authors of "Neurological manifestations in Japanese Ama divers."	Kohshi, K.	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 42 :127 - 129 (2007年6月)	第3回アジア高気圧・潜水医学会総会の報告	合志 清隆	高気圧治療部
臨牀と研究 84(7):981 - 983 (2007年7月)	一酸化炭素中毒の診断と治療の問題点	合志 清隆	高気圧治療部
中毒研究 20 :273 - 274 (2007年7月)	一酸化炭素中毒の診断と治療	合志 清隆	高気圧治療部
ICUとCCU 31(7):547 - 548 (2007年7月)	ドイツ Murnau 外傷センターの高気圧治療部門	合志 清隆	高気圧治療部
医学のあゆみ 222(8):554 - 555 (2007年8月)	根拠に基づく急性一酸化炭素中毒の治療と課題	合志 清隆	高気圧治療部

10件

320件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中毒研究 20 :381 ~ 382 (2007年10月)	一酸化炭素中毒の遅発性脳症について	合志 清隆	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学会雑誌 42 :257 ~ 259 (2007年12月)	「第4回バリアフリーダイビング中国大会」の医療支援報告	合志 清隆	高気圧治療部
日本高気圧環境・潜水医学 会(安全協会ニュース) 17 :28 ~ 39 (2008年3月)	高気圧医学の世界:新たな可能性が広がる 科学の世界	合志 清隆	高気圧治療部
診断病理 24(3):304 ~ 306 (2007年7月)	高度のリンパ球浸潤を伴った甲状腺明細胞 型濾胞腺腫の1例	松山 篤二	病理部
日本臨床細胞学会九州 連合会雑誌 38 :25 ~ 29 (2007年7月)	乳腺穿刺吸引細胞診と予後因子 乳腺細胞 診報告様式に沿った運用とその問題	小原 光祥	病理部
臨床化学 36:615 ~ 625 (2007年7月)	内部精度管理の標準化指針	池田 勝義	臨床検査・輸血部
医学検査 55(11):1252 ~ 1263 (2007年11月)	臨床検査データ共有化マニュアル —都道府県基幹施設用—(日臨技)	池田 勝義	臨床検査・輸血部
MEDICAL TECHNOLOGY 36(1):35 ~ 38 (2008年1月)	超音波・画像診断の寄与	大田 俊行	臨床検査・輸血部
Anti Cancer Research 27(2) : 1133 ~ 1136 (2007年5月)	Prediction of emergency hospitalization of outpatients receiving cancer chemotherapy.	Uramoto, H.	化学療法センタ ー・血液科
Anti Cancer Research 27(2) : 1127 ~ 1132 (2007年5月)	Evaluation of the quality of life between inpatients and out patients receiving cancer chemotherapy.	Uramoto, H.	化学療法センタ ー・血液科

10件

330件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Immunol 44(13):3364 - 3379 (2007年7月)	Phosphorylation of IRF8 in a pre-associated complex with Spi-1/PU.1 and non-phosphorylated Stat1 is critical for LPS induction of the IL1B gene.	Tsukada, J.	化学療法センタ ー・血液科
臨放射 52(13):1769 - 1775 (2007年12月)	悪性リンパ腫の治療 最近の進歩	塚田 順一	化学療法センタ ー・血液科
癌と化学療法 34(13):2259 - 2262 (2007年12月)	外来癌化学療法のリスクアセスメント	浦本 秀隆	化学療法センタ ー・血液科
Psychother Psychosom 76(3):177 - 185 (2007年4月)	Low Control at Work and the Risk of Suicide in Japanese Men:A Prospective Cohort Study.	Tsutsumi, A.	産業医実務研修センター
BMC Oral Health 7(3) (2007年4月)	Types of psychosocial job demands and adverse events due to dental mismanagement:a cross sectional study.	Tsutsumi, A.	産業医実務研修センター
地方公務員安全と健康 フォーラム 63:17 - 19 (2007年4月)	過重労働による健康障害防止対策の進め方	森 晃爾	産業医実務研修センター
産業医学レビュー 20(1):29 - 44 (2007年5月)	派遣労働者の労働衛生管理の現状と課題	中本 真理	産業医実務研修センター
健康開発 11(3):44 - 50 (2007年5月)	厚生労働科学研究労働安全衛生総合研究事業発表会 労働安全衛生マネジメントシステムでの労働衛生上のリスク対策に必要なアセスメントツール等の開発	森 晃爾	産業医実務研修センター
保健医療科 56(2):76 - 82 (2007年6月)	職業階層と健康の格差：職業性ストレスの役割	堤 明純	産業医実務研修センター
ストレス科学 22(1):31 - 37 (2007年7月)	職業階層と職業性ストレス、健康	堤 明純	産業医実務研修センター

10件

340件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産業精保健 15(3):136 - 139 (2007年9月)	科学的根拠にもとづく産業精神保健 職場のメンタルヘルス対策への管理監督者 教育の効果	堤 明純	産業医実務研修 センター
産業医学プラザ 14 :45 - 56 (2007年10月)	産業医実践講座 産業保健活動の5管理 総括管理	森 晃爾	産業医実務研修 センター
心療内科 11(6):404 - 415 (2007年11月)	職場のストレスチェック	堤 明純	産業医実務研修 センター
日本精神科病院協会雑誌 26(11):6 - 9 (2007年11月)	職場復帰支援と産業医	森 晃爾	産業医実務研修 センター
第38回日本看護学会 論文集看護総合 409 - 411 (2007年12月)	低床ベッドでの清拭動作時に作業姿勢が下 肢・腰部に与える影響	平澤 和子	看護部
ITヘルスケア誌 2(2):66 - 79 (2008年2月)	独立成分分析を利用したVDT入力作業時の 疲労の評価	八谷 百合子	健康管理センター
電気学会論文誌 C 128(1):45 - 54 (2008年1月)	VDT入力作業における疲労評価のための生 体情報収集	八谷 百合子	健康管理センター
産業保健人間工学研究 19 (1):7-13 (2008年1月)	軽いTime Pressureを与えたVDT入力作業 時の疲労の評価	八谷 百合子	健康管理センター
日本高気圧環境・潜水 医学会雑誌 42(2):93 - 100 (2007年11月)	産業医科大学病院における高気圧治療部門 電子カルテの導入と有用性	Kinoshita, Y.	病院医療情報部
Pancreas 35(4):e23 - e29 (2007年11月)	Preferential Increase of Extracellular Matrix Expression Relative to Transforming Growth Factor β 1 in the Pancreas During the Early Stage of Acute Hemorrhagic Pancreatitis in Rats.	Nakamura, H.	進路指導部

10件

350件

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

(平成20年10月1日現在)

管理責任者氏名	病院長 中村 利孝
管理担当者氏名	医療情報部長 舟谷 文男、 放射線部長 興梠 征典 看護部長 奥川 満子、 薬剤部長 高橋 浩二郎 病院管理課長 谷口 眞規、 医事課長 辻塚 熱

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			電子カルテ以前の手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、入院中の診療経過の要約及び電子カルテ以降の入院・外来ファイルに添付の諸記録は病歴室で保管。(但し外来診療録及びファイルに添付の諸記録は、最終診療日から3ヶ月以内の物については、各診療科外来で保管) 最終撮影日から1年以内のエックス線写真は放射線部で保管。 処方せんは薬剤部で保管。 各科診療日誌は看護部で保管。 病院日誌は病院管理課で保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	病院管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
	確規保則の第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び病院業務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部及び病院業務課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び病院業務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療に係る安全管理のための指針の整理状況	医療安全管理部及び病院業務課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び病院業務課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部及び病院業務課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部及び病院業務課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部及び病院業務課	
		感染制御部及び病院業務課	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部及び病院業務課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部及び病院業務課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部及び病院業務課	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理办法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

(平成 20 年 10 月 1 日現在)

閲覧責任者氏名	病院事務部長 西岡隼人
閲覧担当者氏名	病院管理課長 谷口眞規, 病院管理課長代理 田中和寿
閲覧の求めに応じる場所	応接室兼診療情報等閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績 (平成 19 年度分)

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	
医 師	延 0 件
歯 科 医 師	延 0 件
国	延 0 件
地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

(平成 19 年度分)

紹 介 率	76.7%	算 定 期 間	平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
A : 紹介患者の数			13,144 人
B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			9,080 人
C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			2,138 人
D : 初診の患者の数			22,647 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、C の和を B、D の和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 A、B、C、D は、それぞれ延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：	
医療安全管理部 専任(1)名 兼任(3)名 (専任：医療安全管理責任者(1名)、兼任：部長(1名)、医薬品安全管理責任者(1名)、 医療機器安全管理責任者(1名)) 感染制御部 (専任：病院感染対策者(1名)、兼任：部長(1名)、感染制御医師(1名)、 感染制御担当職員(4名)) ※ 医療安全対策にかかる事務部署：病院事務部病院業務課(4名)	
・ 活動の主な内容：	
① インシデント・アクシデントについての情報収集・分析・評価 ② 医療事故防止及び感染防止のための研修・教育 ③ 医療事故や病院感染発生の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導 ④ 医療事故及び病院感染を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック 及び評価を行うこと ⑤ 医療安全対策の推進にかかること、連絡調整に関すること	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 安全管理に関する基本的考え方 安全管理のための委員会に関する基本的事項等	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 43回
医療安全対策委員会(5回)、医療事故防止委員会(12回)、病院感染防止委員会(17回)	
・ 活動の主な内容：	
① 医療安全対策の検討及び研究 ② 医療事故並びに病院感染の分析及び再発防止策の検討に関するこ ③ 医療事故防止並びに病院感染防止のための啓発、教育及び広報に関するこ	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年39回
・ 研修の主な内容： 業務から起こりうる事故や感染を知り、事故及び感染防止対策が実践できること 安全に対する意識の向上(別添)	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)

- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

平成19年度

- ① 肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症予防のマニュアル作成
- ② 末梢静脈輸液ルート生食ロック用のプレフィルドシリンジの導入
- ③ I Cシステムのテンプレートの内容変更
- ④ 輸血拒否患者への対応指針作成
- ⑤ ポケット医療安全マニュアルの改訂 (第2版)
- ⑥ 医薬品業務手順書の作成
- ⑦ 医療機器業務手順書、平成19年度医療機器保守点検計画書の作成
- ⑧ 本院における転倒DVD作成
- ⑨ 骨折軽減用具の導入
- ⑩ 抗菌薬投与に関するアナフィラキシー対策の作成
- ⑪ 救急カート標準化の改定
- ⑫ 一般病棟における人工呼吸器関連事故防止対策
- ⑬ インスリンの希釈標準化
- ⑭ 重大な指針等の確認方法

平成20年度

- ① 平成20年度医療機器保守点検計画書の作成
- ② 死亡事故 (レベル5) 発生時の連絡体制
- ③ アレルギー確認のためのリストバンドの表示
- ④ ポケット医療安全マニュアルの改訂 (第3版)
- ⑤ 医薬品業務手順書の一部改定 (第2版)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： ※ 本院では、医療に係る安全管理の指針と一体的に策定している。 安全管理に関する基本的考え方 安全管理のための委員会に関する基本的事項等	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 22回
医療安全対策委員会（5回）、病院感染防止委員会（17回）	
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： ① 医療安全対策の検討及び研究 ② 病院感染の分析及び再発防止策の検討に関すること ③ 病院感染防止のための啓発、教育及び広報に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 9回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容 院内感染対策 本院における感染事例について 感染対策の土台—院内環境整備—	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無)その他の改善のための方策の主な内容： ① 感染制御部の設置 ② 薬剤耐性菌の隔離予防策に関する改定	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容<ul style="list-style-type: none">① 医薬品の安全使用のための業務手順書について② 麻薬の管理について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有)・無)業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">① 医薬品の採用② 医薬品の購入管理③ 医薬品の管理④ 与薬指示・調剤⑤ 患者に対する与薬や服薬指導⑥ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い⑦ 他施設との連携	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)その他の改善の方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">① 薬剤師による処方への疑義照会② 薬剤師による病棟及び外来の院内ラウンドの実施	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 11回
・ 研修の主な内容 :	
① 輸液ポンプとシリンジポンプ ② A E D ③ 人工呼吸器 ④ 心電図	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有)・無)	
・ 保守点検の主な内容 :	
① 人工心肺装置 ② 血液浄化装置 ③ 人工呼吸器 ④ 除細動装置 (A E D を除く) ⑤ 閉鎖式保育器 ⑥ 高エネルギー放射線装置 ⑦ 放射線照射装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無)	
・ その他の改善の方策の主な内容 :	
① 臨床工学部を設置し、体制を確保したこと。 ② 医療機器の安全管理のための体制確保に係る業務手順書を作成 ③ 適切な保守を含めた包括的な管理のために医療機器管理システムを導入	

平成19年度安全管理のための職員研修一覧(実施)

別添

NO	研修区分	開催日	参加人数	時間	内容
1	臨床研修入門	平成19年4月2日	11名	4時間	・院内感染関係
		平成19年4月5日	11名	4時間	・静脈採血、静脈注射 (講師:医療安全管理者、医療事故防止委員)
		平成19年4月6日	11名	4時間	・インフォームド・コンセント、医療事故防止 (講師:医療安全管理部長、医療安全管理者)
2	看護師新採用オリエンテーション	平成19年4月4日	93名	0.75時間	・医療安全指針、インシデントレポート入力 (講師:医療安全管理者)
3	リスクマネージャー研修①	平成19年5月8日	51名	0.5時間	・①情報セキュリティについて ②医療安全管理の取り組み (講師:①舟谷医療情報部長、②医療安全管理者)
4	第47回ME安全セミナー	平成19年5月21日	110名	1時間	・輸液ポンプとシリンジポンプ (講師:ME管理科職員)
5	第48回ME安全セミナー	平成19年6月18日	60名	1時間	・輸液ポンプとシリンジポンプ (講師:ME管理科職員)
6	初任者フォロー研修①	平成19年6月13日	53名	1時間	・インシデントKYT:与薬事例とともに (講師:医療安全管理者)
		平成19年6月22日	52名		
		合計	105名		
7	病院感染防止研修会	平成19年7月18日	508名	2時間	・VRE感染事例について (講師:①病院感染防止委員 寶珠山務、②病院感染対策者)
8	中途採用者及び人事異動者のための「医療安全に係るDVD研修会」	平成19年7月11日	61名	1.5時間	・当院の医療安全対策とインフォームド・コンセントの意義 (講師:①医療安全管理部長 田中良哉、②病院感染対策者、③医療安全管理者)
		平成19年7月26日	49名		
		合計	110名		
9	第49回ME安全セミナー	平成19年7月23日	81名	1時間	・医療ガスと医用電気 (講師:ME管理科職員)
10	第50回ME安全セミナー	平成19年8月20日	110名	1.5時間	・AEDを使いこなそう (講師:麻酔科 講師 松本 尚浩)

平成19年度安全管理のための職員研修一覧(実施)

別添

NO	研修区分	開催日	参加人数	時間	内容
11	医療安全(医療事故)にかかる職員研修会 (DVDによる研修含む)	平成19年8月29日	565名	1.5時間	①医療現場におけるヒューマンエラー回避に向けて～人間を知らない限り、事故は減らない～②医薬品の安全使用のための業務手順書について(講師:①北九州市立大学教授 松尾 太加志、②医薬品安全管理責任者 高橋 浩二郎)
		平成19年9月11日	96名		
		平成19年9月12日	111名		
		平成19年9月13日	103名		
		平成19年9月14日	54名		
		合計	929名		
12	第51回ME安全セミナー	平成19年9月10日	94名	1.5時間	・酸素療法器具 (講師:小林メディカル)
13	第52回ME安全セミナー	平成19年10月22日	112名	1.5時間	・人工呼吸器(1)機能と原理 (講師:ME管理科職員)
14	リスクマネージャー研修②	平成19年11月6日	55名	0.5時間	・①急変時の対応と記録の充実について ②重大事故発生時の対応について (講師:①三輪3A師長:リスクマネージャー、②医療安全管理者)
15	転倒予防にかかる研修会	平成20年11月12日	120名	1時間	・当院における転倒・転落予防対策について
16	第53回ME安全セミナー	平成19年11月25日	115名	1.5時間	・人工呼吸器(2)人工呼吸器使用患者の病態と管理(講師:救急・集中治療部 相原 啓二)
17	第54回ME安全セミナー	平成19年12月17日	94名	1.5時間	・心電図判読技術 (講師:医学教育担当教員 高水間亮治)
18	リスクマネージャー研修③	平成20年1月8日	56名	0.5時間	・①一般病棟での人工呼吸器関連の事故防止について ②麻薬の管理について(①医療安全管理者、②医薬品安全管理責任者)
19	研修医1年次中心静脈カテーテル挿入研修	平成20年1月11日	4名	1.5時間	・中心静脈カテーテルの安全確保との管理(講義及び実習) (講師:手術部 古賀 和徳)
		平成20年1月18日	3名		
		平成20年1月25日	4名		
		合計	11名		
20	第55回ME安全セミナー	平成20年1月21日	109名	1.5時間	・心電図判読技術 (講師:医学教育担当教員 高水間亮治)

平成19年度安全管理のための職員研修一覧(実施)

№	研修区分	開催日	参加人数	時間	内容
21	第56回ME安全セミナー	平成20年2月18日	33名	1.5時間	・BLSインストラクター育成に向けて
22	医療安全(医療事故)に係る職員研修会(DVDによる研修会含む)	平成20年2月14日	609名	1時間	①患者苦情対応から学ぶこと ②もう一度理解しておこう個人情報保護(講師:①本院医事課医療福祉係 野田雅美、②本院医療情報部長 舟谷文男)
		平成20年3月12日	156名		
		平成20年3月13日	152名		
		平成20年3月14日	89名		
		平成20年3月19日	33名		
		合計	1039名		
23	感染防止に係る職員研修会(DVDによる研修会含む)	平成20年2月27日	515名	1.5時間	感染対策の土台ー院内環境整備ー(講師:病院感染防止委員 黒川 雅代)
		平成20年3月12日	120名		
		平成20年3月13日	86名		
		平成20年3月14日	78名		
		平成20年3月19日	64名		
		合計	863名		
24	リスクマネージャー研修④	平成20年3月4日	55名	0.5時間	インフォームド・コンセントについて(講師:医療安全管理者)
25	第57回ME安全セミナー	平成20年3月17日	110名	1.5時間	・医療機器の重大な事事故例